

# 病院と地域をむすぶ

南生協病院の理念 私たちは、ともにあゆむ医療で、笑顔と

「ありがとう」があふれる病院をめざします



# パイプライン

2022年8月号

発行：2022.8.10 総合病院 南生協病院

電話番号 052-625-0373

7月

一日外来患者数：679人 一日入院患者数：266人

ベッド稼働率：85% 救急車：263台 手術数：124件

## 新型コロナウイルス 感染対策徹底しましょう

【2022年8月8日現在の愛知県指標】

基準項目		指標の数値 8月8日現在 (陽性率のみ8月1日 までの過去7日間)	注意(警戒)領域		危険領域			
			注意 (グリーン)	警戒 (イエロー)	嚴重警戒 (オレンジ)	危険 (レッド)		
			レベル0・1A	レベル1B	レベル2	レベル3A	レベル3B	レベル4
(1) 入院患者数	単日 (感染拡大時に適用)	1,374人	242人未満	242人 <sup>※3</sup>	485人 <sup>※4</sup>	861人 <sup>※5</sup>	1,167人 <sup>※6</sup>	2,032人 <sup>※7</sup>
	過去7日間平均 (感染縮小時に適用)	1,193.9人	50人未満	50人	160人	530人	—	—
(2) 新規陽性者数 (過去7日間平均)		14,262.9人	27人未満	27人 <sup>※3</sup>	55人 <sup>※4</sup>	86人 <sup>※5</sup>	109人 <sup>※6</sup>	184人 <sup>※7</sup>
参考項目			7人未満	7人	22人	75人	—	—
入院患者のうち重症者数 <sup>※1</sup> (過去7日間平均)		34.9人	2.5%未満	2.5%	5.0%	10.0%	—	—
新規陽性者数のうちの高齢者数 (70歳以上) (過去7日間平均)		1,253.7人						
陽性率(過去7日間) (陽性者数/検査者数 <sup>※2</sup> )		79.9%						

愛知県の指標をみると、重症者数以外すべての指標が危険領域に達しています。

南生協病院でも発熱外来患者が急増し、救急搬送依頼も急増しています。

## BA.5 対策強化宣言

愛知県ではBA.5 対策強化宣言がだされています。

実施期間：8月5日(金)～8月21日(日)

【要請内容の概要】

- ①基本的感染対策の再徹底
- ②早期にワクチンの3・4回目の接種を受けること
- ③高齢者や基礎疾患を有する者等は、感染リスクの高い行動を控えること
- ④帰省等で高リスク者と接する場合の事前の検査
- ⑤高齢者施設等の利用者のお盆等の節目での検査
- ⑥飲食店での大声や長時間の回避、マスク着用
- ⑦無症状の者は、都道府県が行う無料検査事業を活用
- ⑧救急外来・救急車利用は真に必要な場合に限ること

## コロナワクチン接種

接種日時：8月19日(金)16:00～

8月20日(土)14:00～

8月26日(金)16:00～

【接種対象】

3回目接種から5カ月以上経過し、  
以下に該当し、接種券が届いた方

1, 60歳以上の方

2, 18歳以上で基礎疾患を有する方  
(重症化リスクが高いと医師が認める方)

【電話予約センター】

0120-373-195

平日 11:00～16:30

土曜日 11:00～12:30

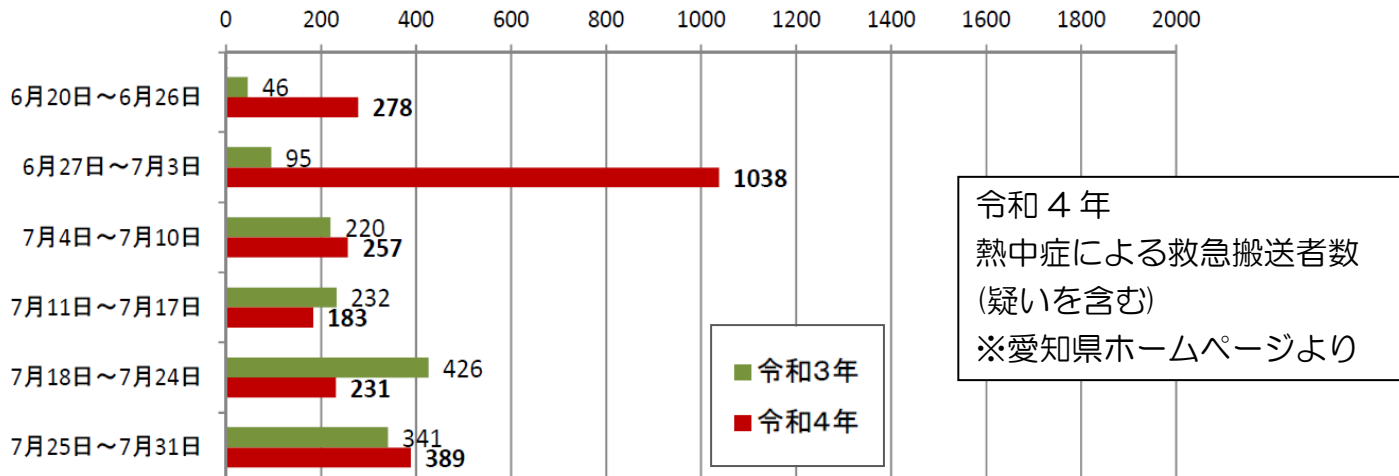
## 第 58 回愛知県献血運動推進大会 厚生労働大臣感謝状をいただきました

令和 4 年 7 月 28 日に青少年文化センターホールで、第 58 回愛知県献血運動推進大会にて厚生労働大臣感謝状を頂きました。この表彰状は、長年に渡り、献血に協力をしてきた病院や企業、団体が表彰されるものです。今回は愛知県で 11 団体が感謝状を贈呈されました。

南生協病院では、コロナ禍においても、多世代交流館だんらん前に献血バスを停車し、感染対策を考慮しながら、病院職員を対象とした病院献血を年に 2 回行っています。毎回、職員の皆様には、400ml 献血で 15 人程ご協力頂いています。昨年度は、当院でも、赤血球製剤が 1573 単位（1 単位あたり 240ml 献血由来）患者様に投与されました。献血は、一番身近なボランティアと言われており、貴重な血液は患者様の治療に役立っています。今後も地域の皆様・職員の皆様にご協力頂き、病院献血を継続していきたいと思っております。



## 熱中症引き続き気を付けましょう



2022 年は 6 月末に急激に暑い日が続き、熱中症による救急搬送が愛知県で急増しました。

7 月に入り、一旦例年並みの救急搬送件数となりましたが、7 月下旬より再度熱中症による救急搬送件数が増加しています。新型コロナウイルス感染症による救急搬送の急増と重なってしまい、救急搬送先の調整に時間がかかってしまう事例が多数発生している旨の報道があります。熱中症になってしまわないよう、日常的な対策を徹底していきましょう。